

から生まれた明朝体と、西洋文明に源流をもつゴシック体を組み合わせました。また、イメージとして発掘区を示す四角形と、研究をあらわす円形を配したほか、下方には若草山を表現しています。



紀要の表紙

## 刊行物

### 『奈良文化財研究所紀要2001』の刊行

独立行政法人としての再出発にともない、毎年刊行してきた『奈良国立文化財研究所年報』も、体裁を一新することになりました。『奈良文化財研究所紀要』として新たなスタートを切ったその最初の号が、刊行の運びとなっています。

従来の3分冊構成を改めて一書にまとめ、1年間の調査と研究の成果を、よりわかりやすくご覧いただけるように努めました。内容はI～IIIの3部からなり、Iが研究報告、IIは飛鳥藤原宮跡発掘調査部、IIIは平城宮跡発掘調査部の発掘概要報告です。

表紙は比較的シンプルなデザインとし、東洋文明